

松籟

三浦紹子

水澄むや池塘に映る白い雲
不漁とか細魚のような秋刀魚焼く
無人駅静かに香る枇杷の花
松籟と波の煌めき春立つ日
あちこちに短冊下がる梅祭り
のどかさや水面に映る二羽の鷺
一斉に蒼天仰ぐ山法師
夕焼雲共に老いたるクラス会
三番瀬ゆうゆうよぎる夏かもめ

もくもくと歩く大和路鰯雲
鰯雲シャークのように行くジャンボ
色付きし葉を背景に帰り花
暮早し腕白坊主を探す声
里帰り気兼ねをせずに寝正月
春めくや鮮やかな服当ててみる
軽やかに水車は回り山笑う
山々が笑い合うてる甲斐の国
放棄地をピンクに染める仏の座
行く春や追い越して行く若い足
薫風や百歳までも生きてみむ